

教科
書道
受験番号

【一】 次の文章は高等学校学習指導要領（平成30年告示）の一部である。空欄（ A ）から（ J ）に当てはまる語の組み合わせとして、適当なものを次の①から⑦の中からそれぞれ選べ。

（一） 書道Ⅱ 2内容 解答番号は【 1 】

B 鑑賞

鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。

（1）鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の（ア）及び（イ）について考え、書の上さや美しさを味わって深く捉えること。

（ア）作品の価値とその（ A ）

（イ）生活や社会における書の美の効用と（ B ）意義

イ 次の（ア）から（エ）までについて理解を深めること。

（ア）線質、字形、構成等の要素と表現効果や（ C ）との関わり

（イ）日本及び中国等の文字と書の（ D ）と文化

（ウ）漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の特徴とその歴史

（エ）書の美と時代、（ E ）、筆者などとの関わり

- ① A 根拠 B 芸術的 C 用具用材 D 意義 E 風土
- ② A 背景 B 多面的 C 風趣 D 歴史 E 書風
- ③ A 影響 B 現代的 C 文化 D 伝統 E 書風
- ④ A 根拠 B 現代的 C 風趣 D 伝統 E 風土
- ⑤ A 影響 B 客観的 C 文化 D 歴史 E 用具用材
- ⑥ A 根拠 B 歴史的 C 風趣 D 伝統 E 風土
- ⑦ A 背景 B 芸術的 C 用具用材 D 歴史 E 書風

（二） 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い 解答番号は【 2 】

2 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

（1）内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、（ F ）の実態に応じて（ G ）を活用すること。また、コンピュータや情報通信ネットワークを（ H ）に活用して、表現及び鑑賞の学習の充実を図り、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫すること。

（2）各科目の特徴を踏まえ、学校や地域の実態に応じて、文化施設、（ I ）、地域の文化財等の活用を図ったり、地域の（ J ）の協力を求めたりすること。

- ① F 学校 G 学校図書館 H 慎重 I 大学図書館 J 学芸員
- ② F 学年 G 美術館 H 積極的 I 大学図書館 J 人材
- ③ F 学校 G 学校図書館 H 積極的 I 社会教育施設 J 人材
- ④ F 学年 G 副教材 H 慎重 I 社会教育施設 J 企業
- ⑤ F 地域 G 博物館 H 横断的 I 情報施設 J 学芸員
- ⑥ F 生徒 G 学校図書館 H 積極的 I 社会教育施設 J 人材
- ⑦ F 学校 G 副教材 H 慎重 I 大学図書館 J 人材

二 次の地図と文章は中国の書にまつわる史跡に関するものである。空欄に当てはまる語の組み合わせとして、適当なものを次の①から⑤の中から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

地図中△の（ア）にある（イ）には、（ウ）が残されている。「九成宮醴泉銘」（原碑）は地図中（エ）の（オ）に残されている。解答番号は【 3 】

- |   |       |       |         |     |       |
|---|-------|-------|---------|-----|-------|
| ① | ア 陝西省 | イ 慈恩寺 | ウ 鄭羲下碑  | エ B | オ 広東省 |
| ② | ア 山東省 | イ 雲峰山 | ウ 集王聖教序 | エ D | オ 陝西省 |
| ③ | ア 山東省 | イ 雲峰山 | ウ 鄭羲下碑  | エ F | オ 陝西省 |
| ④ | ア 広東省 | イ 慈恩寺 | ウ 集王聖教序 | エ E | オ 山東省 |
| ⑤ | ア 広東省 | イ 雲峰山 | ウ 雁塔聖教序 | エ C | オ 山東省 |

【三】 次の図版と古典名について、正しい組み合わせを次の①から⑦の中から一つ選べ。解答番号は

ア

イ

ウ

エ

著作権保護の観点により、

掲載いたしません。

- |   |          |           |        |          |
|---|----------|-----------|--------|----------|
| ① | ア 牛橛造像記  | イ 美人董氏墓誌銘 | ウ 論經書詩 | エ 始平公造像記 |
| ② | ア 始平公造像記 | イ 美人董氏墓誌銘 | ウ 論經書詩 | エ 曇宝子碑   |
| ③ | ア 牛橛造像記  | イ 高貞碑     | ウ 鄭羲下碑 | エ 曇宝子碑   |
| ④ | ア 始平公造像記 | イ 美人董氏墓誌銘 | ウ 鄭羲下碑 | エ 魏靈藏造像記 |
| ⑤ | ア 始平公造像記 | イ 高貞碑     | ウ 鄭羲下碑 | エ 曇宝子碑   |
| ⑥ | ア 孫秋生造像記 | イ 高貞碑     | ウ 鄭羲下碑 | エ 魏靈藏造像期 |
| ⑦ | ア 孫秋生造像記 | イ 美人董氏墓誌銘 | ウ 論經書詩 | エ 牛橛造像記  |

【四】 次の文章は唐の四大家について書かれたものである。空欄に当てはまる語の組み合わせとして、適当なものを次の①から⑦の中から一つ選べ。

(一) 初唐の三大家のうち、欧陽詢は「九成宮醴泉銘」や「(ア)」等を残している。同時期に活躍した虞世南は「孔子廟堂碑」を残している。「孔子廟堂碑」は(イ)が儒教振興のために孔子廟を再建したことを記念に建てた碑である。褚遂良は「雁塔聖教序」や「(ウ)」を残している。「雁塔聖教序」は(エ)の功績をたたえる内容を刻したものである。解答番号は【 5 】

- |   |        |      |       |        |
|---|--------|------|-------|--------|
| ① | ア 皇甫誕碑 | イ 玄宗 | ウ 枯樹賦 | エ 玄奘三蔵 |
| ② | ア 温泉銘  | イ 玄宗 | ウ 哀冊  | エ 鑑真   |
| ③ | ア 皇甫誕碑 | イ 太宗 | ウ 温泉銘 | エ 玄奘三蔵 |
| ④ | ア 温泉銘  | イ 高宗 | ウ 宣示表 | エ 行基   |
| ⑤ | ア 皇甫誕碑 | イ 玄宗 | ウ 哀冊  | エ 玄奘三蔵 |
| ⑥ | ア 温泉銘  | イ 太宗 | ウ 哀冊  | エ 鑑真   |
| ⑦ | ア 皇甫誕碑 | イ 太宗 | ウ 枯樹賦 | エ 玄奘三蔵 |

(二) 顔真卿は「(オ)」の際に、反乱軍の鎮圧に向かっている。その際に殉死した顔季明の弔辞の草稿である「(カ)」は、真跡として残っている。また太子少師を授かったときの辞令書の「(キ)」を書いている。顔真卿の筆法は「(ク)燕尾」とよばれ、起筆と収筆に特徴がある。解答番号は【 6 】

- |   |        |        |         |      |
|---|--------|--------|---------|------|
| ① | オ 安史の乱 | カ 祭伯文稿 | キ 顔勤礼碑  | ク 円頭 |
| ② | オ 黄巢の乱 | カ 刑部尚書 | キ 建中告身帖 | ク 円頭 |
| ③ | オ 安史の乱 | カ 刑部尚書 | キ 自書告身  | ク 蚕頭 |
| ④ | オ 黄巢の乱 | カ 祭姪文稿 | キ 祭伯文稿  | ク 蚕顔 |
| ⑤ | オ 安史の乱 | カ 祭姪文稿 | キ 建中告身帖 | ク 蚕頭 |
| ⑥ | オ 黄巢の乱 | カ 祭伯文稿 | キ 建中告身帖 | ク 蚕頭 |
| ⑦ | オ 安史の乱 | カ 祭姪文稿 | キ 自書告身  | ク 円頭 |

【五】 次の唐四大家のうち、作者名と古典名の組み合わせの中で全て網羅している正しい組み合わせはどれか。次の①から⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 7 】

- |   |            |            |
|---|------------|------------|
| A | 欧陽詢「化度寺碑」  | 褚遂良「孟法師碑」  |
| B | 虞世南「積時帖」   | 欧陽詢「温彦博碑」  |
| C | 欧陽詢「仲尼夢奠帖」 | 顔真卿「裴將軍詩」  |
| D | 褚遂良「伊闕仏龕碑」 | 顔真卿「玄秘塔碑」  |
| E | 褚遂良「仲尼夢奠帖」 | 顔真卿「郭氏家廟碑」 |
- ① A と C    ② A と B と D    ③ A と B と C    ④ B と D と E    ⑤ C と E

【六】 次の図版は孫過庭「書譜」の一部である。書かれている内容を示す釈文として、正しいものを、次の①から⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 8 】

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| ① | 或謂過之。張學猶當雁行。秋張精熟。池水尽墨。仮令寡人耽之若此。 |
| ② | 或謂過之。張學猶當雁行。秋張精熟。池水面墨。仮令寡人耽之若氏。 |
| ③ | 或謂過之。張草於當雁行。然張精熟。池水昼墨。仮令寡人耽之若氏。 |
| ④ | 或謂過之。張草猶當雁行。然張精熟。池水尽墨。仮令寡人耽之若此。 |
| ⑤ | 或謂過之。張草於當雁行。秋張精熟。池水面墨。仮令寡人耽之若此。 |

著作權保護の観点により、

掲載いたしません。

七 次の図版の古典名と作者名のうち、組み合わせとして正しいものを次の①から⑤の中から一つ選べ。  
 解答番号は【 9 】

図 A

図 B

著作権保護の観点により、  
 掲載いたしません。

- ア 大智禪師碑      イ 天発神識碑      ウ 乙瑛碑      エ 張遷碑      オ 石台孝経  
 カ 徐三庚      キ 玄宗      ク 史惟則      ケ 柳公権      コ 作者不詳

	図 A		図 B	
	古典名	作者名	古典名	作者名
①	ア	カ	エ	ケ
②	イ	ケ	ウ	コ
③	オ	コ	ア	キ
④	イ	カ	オ	ク
⑤	ア	ク	オ	キ

八 次の宋四大家のうち、作者名と古典名の組み合わせの中で全て網羅している正しい組み合わせはどれか。次の①から⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 10 】

- A 蔡襄「謝賜御書詩表卷」      黄庭堅「松風閣詩卷」      米芾「苕溪詩卷」  
 B 蘇軾「松風閣詩卷」      黄庭堅「黄州寒食詩卷」      米芾「蜀素帖」  
 C 蔡襄「謝賜御書詩表卷」      蘇軾「苕溪詩卷」      黄庭堅「李太白憶旧遊詩卷」  
 D 黄庭堅「松風閣詩卷」      蘇軾「黄州寒食詩卷」      米芾「蜀素帖」  
 E 黄庭堅「李太白憶旧遊詩卷」      蘇軾「赤壁賦」      米芾「松風閣詩卷」

- ① A と D      ② B と D      ③ C と D      ④ A と D と E      ⑤ B と C と E

九 次の文章は空海の書について書かれたものである。空欄に当てはまる語の組み合わせとして、適当なものを次の①から⑦の中から一つ選べ。解答番号は【 11 】

空海が書き残した「風信帖」は、(ア)に宛てた手紙の総称で、もともと別に(イ)通あつたものを一本の卷子にまとめたものである。その中には(ウ)等が含まれている。また空海は「七祖像賛」を書いており、これは(エ)の書である。

- |   |        |     |       |       |
|---|--------|-----|-------|-------|
| ① | ア 光明皇后 | イ 二 | ウ 喪乱帖 | エ 行草体 |
| ② | ア 最澄   | イ 四 | ウ 忽抜帖 | エ 篆書体 |
| ③ | ア 最澄   | イ 三 | ウ 忽恵帖 | エ 飛白体 |
| ④ | ア 聖徳太子 | イ 五 | ウ 十七帖 | エ 楷書体 |
| ⑤ | ア 最澄   | イ 三 | ウ 忽抜帖 | エ 隸書体 |
| ⑥ | ア 最澄   | イ 四 | ウ 忽恵帖 | エ 飛白体 |
| ⑦ | ア 最澄   | イ 三 | ウ 喪乱帖 | エ 飛白体 |

十 次の文章は平安の三筆と三跡について書かれたものである。空欄に当てはまる語の組み合わせとして、適当なものを次の①から⑦の中から一つ選べ。解答番号は【 12 】

平安の三筆とよばれるのは「空海」「(ア)」「橘逸勢」であるが、そのうちの(ア)は「(イ)」などを残し、橘逸勢は「(ウ)」などを残している。平安の三跡は「(エ)」「藤原佐理」「藤原行成」の三人で、(エ)は「屏風土代」を残し、藤原行成は「(オ)」を残している。

- |   |        |          |              |
|---|--------|----------|--------------|
| ① | ア 光明皇后 | イ 李嶠詩(伝) | ウ 秋萩帖(伝)     |
|   | エ 小野道風 | オ 白氏詩卷   |              |
| ② | ア 嵯峨天皇 | イ 李嶠詩(伝) | ウ 伊都内親王願文(伝) |
|   | エ 小野道風 | オ 白氏詩卷   |              |
| ③ | ア 聖徳太子 | イ 法華義疏   | ウ 伊都内親王願文(伝) |
|   | エ 紀貫之  | オ 離洛帖    |              |
| ④ | ア 嵯峨天皇 | イ 李嶠詩(伝) | ウ 伊都内親王願文(伝) |
|   | エ 紀貫之  | オ 蓬萊切(伝) |              |
| ⑤ | ア 光明皇后 | イ 秦毅論    | ウ 秋萩帖(伝)     |
|   | エ 西行   | オ 離洛帖    |              |
| ⑥ | ア 光明皇后 | イ 秦毅論    | ウ 伊都内親王願文(伝) |
|   | エ 小野道風 | オ 蓬萊切(伝) |              |
| ⑦ | ア 嵯峨天皇 | イ 光定戒牒   | ウ 秋萩帖(伝)     |
|   | エ 紀貫之  | オ 白氏詩卷   |              |

十一 次の篆刻印譜に刻まれている釈文の組み合わせのうち、正しい組み合わせを次の①から⑦の中から一つ選べ。解答番号は【 13 】

A

B

C

著作権保護の観点により、

掲載いたしません。

- |   |             |        |      |
|---|-------------|--------|------|
| ① | A 約清愁楊柳岸边相候 | B 吾道西北 | C 帝中 |
| ② | A 新清愁楊柳岸边相候 | B 吾道石北 | C 帝中 |
| ③ | A 約清愁楊柳岸边相候 | B 吾道石北 | C 希中 |
| ④ | A 新精愁楊柳岸边相候 | B 吾道西行 | C 希旗 |
| ⑤ | A 約精愁楊柳岸边相候 | B 吾道屈行 | C 帝旗 |
| ⑥ | A 約清愁楊柳岸边相候 | B 吾道西行 | C 希中 |
| ⑦ | A 新清愁楊柳岸边相候 | B 吾道西行 | C 帝旗 |

十二 次の文章は文房四宝について述べたものである。空欄に当てはまる語の組み合わせとして、適当なものを次の①から⑦の中から一つ選べ。解答番号は【 14 】

文房四宝とは「筆」「紙」「墨」「硯」をさす。筆は、主に動物の毛と竹製や木製の軸で作られ、(ア)の熊野筆が日本国内では最も生産量が多い。書画に使われる画仙紙のうち「聯落ち」と呼ばれる紙は、全紙よりも約(イ)センチメートル余り幅が狭い。墨は煤、膠、香料で作られ、(ウ)を材料にした煤で墨を作った場合、やや青みがかつた色が出せるため、「青墨」と呼ばれる。硯は自然石を加工したもののうち、日本では(エ)の雨畑硯や(オ)の雄勝硯などが知られている。

- |   |        |       |       |       |       |
|---|--------|-------|-------|-------|-------|
| ① | ア 三重県  | イ 十七  | ウ 菜種油 | エ 山口県 | オ 宮崎県 |
| ② | ア 広島県  | イ 十七  | ウ 胡麻油 | エ 山口県 | オ 山口県 |
| ③ | ア 三重県  | イ 十七  | ウ 松   | エ 宮城県 | オ 山梨県 |
| ④ | ア 和歌山県 | イ 二十二 | ウ 胡麻油 | エ 山梨県 | オ 京都府 |
| ⑤ | ア 広島県  | イ 二十二 | ウ 胡麻油 | エ 山口県 | オ 宮崎県 |
| ⑥ | ア 三重県  | イ 二十二 | ウ 松   | エ 山梨県 | オ 宮城県 |
| ⑦ | ア 広島県  | イ 十七  | ウ 松   | エ 山梨県 | オ 宮城県 |

十三

次の平仮名と片仮名の字源のうち、正しい組み合わせはどれか。次の①から⑦の中から一つ選ぶ。

解答番号は【 15 】

	え	さ	と	イ	ワ
①	衣	左	止	伊	和
②	衣	世	十	似	宇
③	衣	世	外	伊	和
④	之	左	外	依	冗
⑤	之	佐	止	依	和
⑥	衣	佐	止	似	和
⑦	衣	左	外	伊	和



十四 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(1) 二重傍線部のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を使うものとして正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 16 】

- ① レイ淡      ② レイ儀      ③ レイ行      ④ レイ属      ⑤ レイ魂

(2) 空欄 

I
---

、

II
----

 に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 17 】

- ① I  しかし                  II  だから  
② I  しかし                  II  やはり  
③ I  たとえば                II  しかし  
④ I  たとえば                  II  だから  
⑤ I  たとえば                  II  やはり

(3) 次の一文は本文中の (I) ～ (V) のいずれかに入る。この一文を入れるのに最も適切な箇所を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 18 】

そして、こうした内面の共同性を人々に教える最もすぐれた教科書が小説だったのである。

- ① (I)      ② (II)      ③ (III)      ④ (IV)      ⑤ (V)

(4) 傍線部 (A) 「歴史の必然だった」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の

①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 19 】

- ① 明治期中産階級も現在の大衆も同質の教養を求めているが、資本主義の発展にともなうて、明治期中産階級と現在の大衆の権力との関わり方に質的な違いが生まれたのは誰の眼にも明らかだということ。
- ② 教養を身につけるために必要不可欠だとされていた読書が軽視されるようになったのは、高度経済成長期において、日本人の国民性が大きく変化したことの必然的な結果だったということ。
- ③ 教養を持った一部のエリートが支配階層として社会の中枢を占めたかつての状態から、幅広い大衆の存在が社会に大きな影響力を持つ状態に変化したのは、時代の流れに沿うものだという事。
- ④ かつて大衆は読書を通して教養を得ることでエリートに近づこうとしたが、大衆の多くが高い教養を身につけた現代では大衆の間の差がなくなり、大衆の読書に対する意欲が失われるのは当然だということ。
- ⑤ エリートが教養を身につけるためのものとしてあった読書が、現在では大衆が娯楽として消費するものへと墮落してしまったことは、歴史の推移としてやむを得ないということ。

(5) 傍線部 (B) 「政治体制と近代読者との関係」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 20 】

- ① 近代の民主主義社会では、印刷された書物が一般に流通するのにもなうて、自ずと人々の間に読み書きの能力が普及し、自由な市民としての国民が近代文学を楽しむようになった。
- ② 近代民主主義の台頭は、読み書きの能力を有する国民が、共通語としてのラテン語で書かれた文学を読み、程度の差はあるものの民主主義の精神を理解できるようになったことが主な原因となっている。
- ③ 西洋の民主主義国家では、国民は政治に参加し国家を担う市民になるための教育の一環として読み書きの能力を身につけさせられ、自国の文学を享受するとともにそれを西洋全域に広めようとした。
- ④ 西洋の民主主義体制は、議会政治や司法制度の整備などよりも、印刷技術の発達と印刷物の流通、人々の読み書きの能力の向上によつて生まれた近代国民文学に支えられていた。
- ⑤ 近代の民主主義国家では、民族や言語における国民の一体感が不可欠だが、その一体感とは、教育により普及した読み書きの能力を背景とする自国語の文学の広がりに対応していた。

(6) 傍線部 (C) 『西洋型民主主義』の『外部』に出てみなければわからない」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 21 】

- ① 現在の日本では、読書が勧められ、人々が小説を読むことはごく普通なこととされているが、そうしたあり方は西洋近代の影響下で歴史的に形成されたものであったことが分かる。
- ② 作家はいても小説を書くことの許されない社会の存在を知ること、自由に小説が出版されて、作家が多くの収入を得ている現在の日本の恵まれた状況が分かる。
- ③ 西洋型民主主義の思想を取り入れることで、経済的な発展を追い求めてきた日本人が、西洋以外の社会を考察の対象としてこなかったという日本人のあり方が分かる。
- ④ 人間の書いたものの中に真実はないとするアラブ世界の考え方を知らること、西洋の人間中心主義的な考え方を自明のこととして受け入れている現在の日本人のあり方が分かる。
- ⑤ 戦後、資本主義社会の中で経済発展を重視してきた現在の日本人が、アラブ世界の現実を知ること、自民族中心主義から抜け出して柔軟に思考することの重要性が分かる。

(7) 傍線部 (D) 「小説は国語教育に取り込まれることによつて、国民的な教育装置となつた」とあるが、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 22 】

- ① 近代小説は、人々に国民意識を植えつけるための唯一のメディアであつたが、学校で一定の道徳的な読み方を強制的に教えられた結果、国家にとって望ましい国民意識をもつた国民が養成されたということ。
- ② 近代小説は、自由で教養のある市民としての国民を育てるものであつたはずなのに、国語教育に利用されたことで、実態の伴わない国民国家という意識や国民に共通する内面を教える道具になつたということ。
- ③ 近代小説は、国家権力の意向を汲み取つて書かれ、学校ではその小説を一定方向の読み方で教育してきたので、国民は自由な読み方をすることが許されず、次第に人間の価値を規定するものとして機能するようになったということ。
- ④ 人間の内面を描くことの多い近代小説は、読者に内面の共同性を教える働きをもつが、社会が求める人間を目指すような読み方が学校で教えられることで、国民の内面が標準化され、国民意識が強化されていったということ。
- ⑤ 人々の日常生活における道徳的な精神を描くことを主としていた近代小説は、教育の現場でその読み方が教えられるようになったことで、国民の間に共通する倫理観や共生の精神が自然に芽生えていったということ。

(8) 本文の内容に合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 23 】

- ① 大衆が読書をするようになったのはそれほど昔のことではなく、多くの条件を満たしてはじめて近代的な読者となった一九七〇年代後半以後の中産階級が現在の大衆の原型である。
- ② 高度経済成長期には画一的な工業製品を持つことが幸福と考えられ、「みんなと同じ」という心性が国民に蔓延し、この風潮の中で大衆が小説を読んだことが出版文化の隆盛につながった。
- ③ 近代国民国家において、国民は民族的・言語的統一感を得るために、自国語の読み書き能力を用いて、自国語で書かれた文学を読むようになった。
- ④ 歴史を学んだり、自分たちの社会の「外部」に出たりすることで、自らのあり方を顧みることは、自己の内部に「絶対的な規範」を確立するためには欠かせない重要なものである。
- ⑤ 神が絶対的な規範でなくなった近代では、緩やかな規範としての共同体が崩壊し、個人として孤立した大衆は、他人を真似ることで生きる方向性を得ようとするようになった。



十五 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

むつき廿日あまりより本国あふみにありしが、晦日の夜、<sup>こひり</sup> 桧杉山といふうへに火のもゆるが、<sup>た</sup> ただかに雲にうつろふけしき、おそろしかりけるに、京おほきにやけぬといひわたりしかば、

(A) とみに人をのぼせぬ。其明けのあしたも、猶日の色ただならず。煙なるべし、雲霧のやうに立まよひし間、かたがたへの便をきくに、建仁寺の前、宮川のまちより火出て、はげしき風のまにまにちりみだれつつ、上中下残る所なくやけうせぬといへば、わがやどもはやう煙となりぬらんとはおもへど、常にいひ教しこと、「調度はをしむな。老たるしぞくをあやまちさせずいざなひて、とくのがれよ」といへるを守なんと (B) 心やすくて、尚ただかなる便を聞て出立なんと、しづまりて有しかど、<sup>た</sup> 方広殿の大門に火うつりぬときこゆ。「いかにまれ、はや帰たまはんこそよからめ」とすすむる人のあれば、やがて物にのりて、よすがらいそがせつつ、二日の朝、ばかりに帰りてみるに、晦日よりこなた、火をさけて入こみたる人々の名残、尚ものさはがしけれど、例のうぐひす、のどかに来なくが嬉しくて、口ずさむ。

(C) 帰来て聞もさらにぞめづらしき煙にもれしやどのうぐひす

そもそも (D) こたびばかりの火は、京にてためしなしといふ。<sup>た</sup> 宝永の火は今もかたりつたへて、おそろしき事にいふめれど、そは京の町、拾が六也とかや。其さき応仁の乱れの火も、彼記にすさまじうかけれど、こたびばかりはなし。中昔、かもの長明の記にみゆるも、大風、地震、飢饉などつづけて書たれば、身の毛いよだつやうなれど、火ばかりとりはなちては、京の中、三がひとつといへり。こたびは洛中洛外をかけて九分にあまり、残れる所ははつかに方広殿のめぐり、祇園、知恩院、栗田のわたり、西本願寺はあやうくてまぬがれ、はた東寺、北野ばかりとなん。

されば、<sup>た</sup> 禁裏、仙洞をはじめ奉り、諸宮公卿の御館ども、ひとつに煙とのぼり、かけまくもかしこき御うへうへも、かたがたに離れうつらせ給ふ。晦日の夜、院の白川へ遷幸ましますを、河原に遁れし人の押み奉りしを聞ば、雨さへ風にきほふに、衣冠の人々とりどりに、ささやかなるともしをさげてさきをおひたまひ、御どもの御つぼね女房達は、衣うちかづきたるばかりにて笠もなく、しとどにぬれて皆かちはだしにて渡り給ひぬるは、めもあてられざりしといへり。さしも玉をみがきたる殿客、こがねをちりばめし精舎も、残なく灰となりぬるに、寺は、

<sup>た</sup> 此后とりたつべき祇陀も須達も、己々がやどりさへなくなりたれば、省るよしもあらじと哀也。

かかるさはぎにあひて、火に入り水におぼるるのみか、人せきあひてまろびふまれて死し、

あるは行つかれて息絶、飢てたふれしもおほく、いづこもいづこもかばね所せしと聞ゆ。あるは親をうしなひ子をたづね、かしこころにもとめて、一日三日をへてもあひたるはよし、生死のわいだめもしらず、ちまたにさけぶもあるべし。やまひ限なる人、子うむにのぞむ女などは、其身のみならず、(E) あつかふ人もいかなる心ならんと、思ひやるもむねいたし。

(注) \*1 本国あふみ。 . . . 筆者の本家があつた滋賀県近江八幡市。

\*2 桧杉山 . . . 近江八幡市にある山。その先は京の方角にあたる。

\*3 しぞく . . . 親族。

\*4 方広殿 . . . 方広寺。京都市東山区にある。筆者の住まいは方広寺近くにあつたとされる。

\*5 宝永の火 . . . 宝永の大火。

\*6 禁裏、仙洞 . . . 天皇の御所と上皇の御所。

\*7 此后とりたつべき祇陀も須達も . . . 「この後再建に手助けするはずの祇陀や須達のような人々も」という意味。祇陀は古代インドのコーサラ国の皇太子。須達は同国の長者。祇陀太子と須達長者は私財を投げうって釈迦のために寺院を建立した。

\*8 わいだめ . . . 区別。

(『かぐ土のあらび』による。)

(1) 本文中の  には午前八時頃を表す十二支の漢字が入る。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は「 24 」

- ① 酉      ② 辰      ③ 戌      ④ 卯      ⑤ 巳

(2) 傍線部(A)「とみに人をのぼせぬ」の解釈として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は「 25 」

- ① 急いで使いの者を京へ行かせた  
② あらかじめ家の者に連絡してあつた  
③ 緊急を知らせる使者は来なかつた  
④ 慌てて家の者を高台に避難させた  
⑤ 多くの使者に京の都を見に行かせた

(3) 傍線部(B)「心やすくて」とあるが、筆者はなぜこのような心情でいるのか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 26 】

- ① 自分の家は焼け落ちてしまったかもしれないが、家の者は世の中の教訓どおり、周囲の人を避難させたのだろうかと考えているから。
- ② 自分の家はすでに燃えてなくなってしまうだろうが、家の者は日頃の教えを守り、全員無事に避難しただろうと考えているため。
- ③ 自分の家はもう焼けてなくなっているだろうが、家の者は帝の命令のとおり、全員が無事に避難しただろうと考えているから。
- ④ 自分の家はまだ燃え続けているだろうが、家の者は古来よりの言い伝えどおり、近所の人と一緒に避難したのだろうかと考えているため。
- ⑤ 自分の家は焼け失せてしまったかもしれないが、家の者は年寄りの知恵のとおり、全員無事に避難できただろうと考えているから。

(4) 傍線部(C)の和歌「帰来て聞もさらにぞめづらしき煙にもれしやどのうぐいす」に込められた筆者の心情の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 27 】

- ① 京の都が火事で焼けてしまったのに、これまでと変わらない様子で鳴いているうぐいすを見て、この世の無常を実感している。
- ② この季節にうぐいすが鳴くのは珍しいことだが、本家の庭でうぐいすの声を聞き、家族の無事がわかったことに胸をなでおろしている。
- ③ 家族が無事であったことに安堵しているが、火事でうぐいすが減ってしまい、鳴き声が聞けなくなったことを残念に思っている。
- ④ 大火事の混乱はまだ残っているが、自宅の庭でいつものようにうぐいすが鳴いている声を聞き、皆が無事に生き延びたことを実感している。
- ⑤ 京の町が火事で焼け、自宅の庭が荒れ果ててしまったにもかかわらず、飼っていたうぐいすが生き残っていたことに驚いている。

(5) 傍線部(D)「こたびばかりの火」についての説明として適切でないものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 28 】

- ① 今回の火災は前例が無いほどの甚大な被害をもたらし、宝永の大火や応仁の大火も今回ほどではなかった。
- ② 今回の火災は、一月の月末から二月二十日過ぎまでの、およそ一か月にわたって京の町が燃え続けた。
- ③ 今回の火災は、これまでに京の町を襲った火災の中で最も被害が大きく、京の町の九割近くが燃えてしまった。

- ④ 今回の火災によつて御所も燃えてしまったため、院は家来と共に雨風の中を白川まで避難しなければならなかつた。
- ⑤ 方広寺の周辺、知恩院、西本願寺、北野天満宮は、今回の火災を免れて燃え残つたようである。

(6) 傍線部(E)「あつかふ人もいかなる心ならん」の解釈として最も適切なものを、次の

- ①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 29 】
- ① 噂をしている人もどのような考えなのだろうか
- ② 介抱している人もさぞかし嫌がつているだろうよ
- ③ 見物している人もどれほど悲しい思いでいるのだろうか
- ④ 世話をしている人もどのような気持ちなのだろうか
- ⑤ 仕えている人もどんなにかつらく思つているだろうよ

(7) この文章の表現の特徴として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は【 30 】

- ① 猛火の中を逃げ惑う人々の姿と、のどかに鳴くうぐいすの姿を比較しつつ、火災で家族を失うことの深い悲しみを克明に描いている。
- ② 京の町を襲つた火災の様子を、和歌や仏教に関する豊富な知識も用いて、過去の記録と比較しながら理知的に描き出している。
- ③ 京の町を襲つた悲惨な火災のありさまを、筆者自身の体験に加え、伝聞したことや過去の記録を織り交ぜながら具体的に描いている。
- ④ 京の町を襲つた火災について描いた古典の表現を多く引用しながら、大災害の様子を端正な文体で描いている。
- ⑤ 京に残した家族に対する自らの思いを抑制して、火の中で苦しむ人々の姿を臨場感あふれる筆致で見事に描き出している。





令和4年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験  
第1次選考試験 高等学校 書道

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正解	④	③	③	④	⑦	⑤	③	④	⑤	①

問題番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	③	②	⑥	⑦	①	③	④	②	③	⑤

問題番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	①	④	⑤	②	①	②	④	②	④	③

